

# 楽しく笑って 高齢者になろう!

## お元気教室(介護予防教室)のご案内

高齢者の皆さんが生き活きと生活を送れるよう介護予防教室を開催します。運動や口腔機能の向上、認知症予防などの内容で行います。

- 対象 65歳以上の町民
- 会場 シーサイドタウンマスト マストホール(2階)
- 日程 12月～H30年2月までの3か月コース  
毎週水曜日 10:00～12:00  
12月:13日、20日、27日  
1月:17日、24日、31日  
2月:14日、21日、28日



教室の様子

- 定員 15名 ■参加費 無料 ■送迎 希望者は送迎します
- 申込期間 11月6日(月)～17日(金) 直接窓口または電話にてお申し込みください
- 申込の際の留意点 下記に該当する人で教室への参加を希望する場合は、担当のケアマネジャーにご相談ください
  - ①要介護認定要支援1・2をお持ちの人
  - ②総合事業対象者(基本チェックリスト(25項目のアンケート)により生活機能の低下等が認められる人)

教室の流れ

1 送迎  
車で迎えに行きます(希望者)



2 血圧測定  
体調確認  
からだの調子を伺います



3 ストレッチ・筋トレや口腔機能向上、  
脳トレ、レクリエーション



4 送迎  
車で送ります(希望者)



【お申込み・お問い合わせ先】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

## 高齢者の消費者トラブルを防ごう!

高齢者は「お金」「健康」「孤独」の3つの大きな不安を持っていると言われており、悪質業者は言葉巧みにこれらの不安をあおり、親切にして信用させ、年金や貯蓄などの大切な財産を狙っています。

高齢者は自宅にいたることが多いため、電話勧誘販売や家庭訪問による被害に遭いやすいのも特徴です。トラブルにあわないために、高齢者に多いトラブルの事例や手口などの「情報」を集めることはとても有効です。ここでは、消費者トラブルに遭わないためのポイントについてご紹介します。

### 電話勧誘を受けたら

- 不要であれば、「必要ありません。」などとはっきりと断る。すぐに切る。
- しつこい電話勧誘で困ったときは、そばに誰かがいれば声をかける。
- 業者名と連絡先を確認し、消費者センター等に相談する。
- 番号非通知の電話を拒否するように設定する。など

### 訪問販売があったら

- インターホンごしに対応する。
- 安易に家の中に入れない。
- 玄関に防犯ブザーを置く。
- すぐに契約しない。
- 多額の現金を手元に置かない。
- 業者訪問が繰り返されるときは、複数人に対応する。など



など

【相談先】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716 釜石市消費生活センター TEL 0193-22-2701

平成28年度 大槌町鶴亀仙(川)柳コンクール 入選作品紹介

〈一般部門 町長賞〉 天気予報 見る地区ふえた 孫のたびだち (菊池 成子さん)

小中一貫教育だより



# 城山の風

大槌のすべての子に豊かな「育ち」と確かな「学び」を

## 芸術・文化の秋 めざましい活躍に拍手!

### MOA 美術館児童作品展

今年で20回を数えるコンクールで最終審査は国の内外から出展された作品を対象に行われます。大槌・釜石・遠野では350点の出品があり、その頂点であるMOA美術館奨励賞に輝いたのは、吉里吉里学園小学部1年の中村海輝人の作品「てのひらすいぞくかん」です。

芳賀君の賞を含め18の特別賞がありましたが、そのうち11の賞を吉里吉里学園と大槌学園が占めました。

【MOA美術館奨励賞】	中村海輝人(吉里学1年) (全国コンクールへ出品)
【大槌町長賞】	高清水莉子(大槌学1年)
【大槌町教育長賞】	倉本 美侑(吉里学4年)
【盛岡放送局賞】	藤原 大翔(大槌学2年)
【岩手日報社賞】	門崎 愛生(吉里学2年)
【岩手めんこいテレビ賞】	田中 心(吉里学3年)
【IBC岩手放送賞】	佐々木 進(吉里学4年)

【テレビ岩手賞】	三浦 楓雅(大槌学1年)
【釜石市立図書館長賞】	小林 優愛(大槌学2年)
【釜石医師会長賞】	佐々木萌依(大槌学1年)
【釜石地区退職校長会長賞】	筑波虎太郎(吉里学1年)

### 岩手県海の子絵画展

この絵画展は、海を愛し漁業を育てる意識を高め、後継者を育成することを目的に毎年開催されるものです。題材は「海」「漁業」「漁船」のいずれかとなっております。供達にとっては身近なものです。

【最優秀賞(岩手日報社賞)】(全国大会に出品されます)  
吉里吉里学園9年 堀 合 美 羽

### 釜石大槌地区歯・口ポスターコンクール

【最優秀賞】吉里吉里学園9年 前 川 緑 希

## とどけたい思い 第30回心の温もり作文

昭和50年代後半「荒れる学校」の言葉を生んだころ青少年の健全育成をめあてに始まった取り組みです。以来、30回の節目を迎えました。



### 【最優秀賞】

大槌学園	1年	阿部涼介
吉里吉里学園	4年	芳賀結月
吉里吉里学園	6年	北田優那
大槌学園	9年	齋藤 愛
大槌高等学校	2年	祝田百花

### 【優秀賞】

大槌学園	1年	小林陽夏	4年	岩間ひらり	4年	三浦撞真
	5年	川端小雪	6年	佐々木大吾	8年	八幡 桜
	9年	阿部楓香				
吉里吉里学園	9年	田中舞乃				
大槌高校	2年	藤原郁乃	2年	白銀真子		

### 全体講評

今年度も素晴らしい作品揃いでした。「今の自分」があるのは、自分の周囲にいる家族、友人また、地域の方があってこそ。作文を書かれた皆さんが、その「絆」や「つながり」を体感して日々生活しているのだと確かに伝わってくるものばかりでした。自分の思いを自信を持って語ることができる子供たちが増えることは、それだけで素晴らしい町づくりになると思います。